

貧困研究会 第16回研究大会

共通論題 貧困と家族・ジェンダーの視点

2023年9月9日(土) 第1版

開催校：札幌学院大学 新札幌キャンパス (札幌市)

2023年度貧困研究会第16回研究大会を11月4日(土)、5日(日)に、札幌学院大学(新札幌キャンパス)にて開催します。今年度は『貧困とはなにか(原題「Poverty」)』(明石出版)第二版の翻訳出版を記念して、イギリスよりR・リスター先生をお招きして特別講演を行います*。また、共通論題のテーマは「貧困と家族・ジェンダーの視点」です。『貧困とは何か』にも示されているように、近年では「資源の不足・欠如」を基盤に、世帯だけではなく、そのなかでの個人の経験や主体性に視点を当てた貧困問題の捉え方に焦点が当たっています。貧困研究に家族・ジェンダーの視点を組み込む取り組みは、すべての人が貧困の影響をできる限り緩和された中で生活を実現する社会の方向性を考えるうえで、避けられない課題です。共通論題シンポジウムでは、貧困研究に家族・ジェンダーの視点を組み込むことで何が新たに見えるようになるのか、何を明らかにすることができるのか、議論を通じて考えていきます。

今大会は対面実施となります。参加申込の際、オンデマンド希望をいただいた方には、大会終了後に講演会と共通論題シンポジウムのオンデマンド配信を予定しておりますが、ぜひとも会場に足をお運びいただければと思います。参加費は非会員も含めて無料です。申し込みは下記にあります[グーグルフォーム](#)からオンラインにて受付中です(10月10日締切)。皆さまのご参加をお待ちしております。

*リスター先生の特別講演は北大科研との共催企画となります。なお、6日(月)には北大科研企画として、北海道大学教育学部にて若手研究者とリスター先生のワークショップも開催いたします(詳細は別途案内予定)。

2023年11月4日(土) 午後1:00~20:00

13:00	■共通論題：貧困と家族・ジェンダーの視点 (司会・進行) 丸山里美(京都大学) ①問題提起総論 大澤真平(札幌学院大学) 「なぜ家族・ジェンダーの視点が貧困研究に求められているのか」 ②各論報告 保田真希(北翔大学)「家族によるケアと貧困」 浦川邦夫(九州大学)「生活時間の貧困と家族・ジェンダー」 鳥山まどか(北海道大学)「世帯内に隠れた貧困、マネープロblem(仮)」 ③コメンテーターによるコメント ：堅田香緒里(法政大学)、大石亜希子(千葉大学) ④質疑・討論 ⑤司会・進行者によるまとめ	304 大教室
16:40	総会	304 大教室
~17:30	終了(予定)	
18:00	懇親会 ：新札幌キャンパス1階カフェテリア(会費5,000円、学生・院生4,000円)	
~20:00		

2023年11月5日(日) 午前9:30~午後16:10(予定)

<p>9:30</p>	<p>■特別講演 304 大教室</p> <p>ルース・リスター (Ruth Lister) 氏 (英貴族院議員、CPAG 名誉会長)</p> <p>「貧困の意味—批判的省察」 (The Meaning of Poverty:Critical Reflections) (通訳有)</p> <p>司会進行 松本伊智朗 (北海道大学)</p> <p>イギリスの貧困研究・社会政策研究を代表する研究者のおひとりであるルース・リスター先生をお招きしての講演です。リスター先生は反貧困運動団体 CPAG (Child Poverty Action Group) 代表、ブラッドフォード大学、ラフバラ大学をへて、2010年にラフバラ大学名誉教授に就かれています。英国学士院会員、イギリス社会政策学会終身会員など、研究者としても尊敬を集めておられる一方、2011年より貴族院議員としてご活躍されています。</p> <p>2021年には、主著「貧困とはなにか—概念・言説・ポリティクス (明石書店、2004/2011)」の大幅な改定版を刊行されました (2023年10月に明石書店より改訳版出版予定)。貧困の核である物質的困窮と、それに起因する关系的・象徴的側面の双方を視野に置き、貧困とエージェンシー、ケイパビリティ、人権、シチズンシップといった諸概念の関係を整理しつつ、貧困のポリティクスを議論するという立論は一貫しており、かつ初版刊行以後の学界の研究成果を反映して補強されています。本講演ではこの改訂版に述べられる「貧困の意味」について、お話を伺います。講演の後半には、質疑応答の時間を設ける予定です。</p>
<p>11:50 ~12:50</p>	<p>■昼休み企画 (出入り自由) : 出版部門セッション 308 中教室</p> <p>『貧困研究事典』(仮称)の約2年後出版をめざして本年2月に立ち上がった出版部会の進捗状況を報告します。気軽にご参加のうえご意見をお寄せください。</p> <p>*昼食持ち込みでご参加ください。なお、大学内の売店等は開いていません。</p>
<p>13:00 ~16:10</p>	<p>■自由論題【対面のみ】 2会場で開催 302、303 中教室</p> <p>(1 報告 20分+質疑応答 15分)</p>
<p>会場 1 中教室 302</p>	<p>【分科会1】司会 佐々木宏 (広島大学)、 山田壮志郎 (日本福祉大学)</p> <p>(1) ホームレス経験者の生活保護利用に伴うスティグマ —大阪市における調査事例から— 永井悠大 (NPO 法人 Homedoor)</p> <p>(2) 相談事例から見る貧困問題の理解枠組みの転換 —欠乏/充足、排除/包摂から不適応/脱出へ— 今岡直之 (NPO 法人 POSSE)</p> <p>(3) 特例貸付償還体制の課題—社会福祉協議会への インタビュー調査からみえてきたもの— 角崎洋平 (日本福祉大学)</p> <p>(4) 在留外国人へのコロナ特例貸付 小関隆志 (明治大学)</p> <p>(5) 「要求者」の運動—1960年代の「生活と健康を守る会」 運動に着目して— 村上慎司 (金沢大学)</p> <p>堅田香緒里 (法政大学)、大岡華子 (埼玉県立大学)、佐々木宏 (広島大学)、 山内太郎 (札幌国際大学短期大学部)</p>

会場 2 中教室 3 0 3	<p>【分科会2】司会 川村岳人（立教大学）、小西祐馬（長崎大学）</p> <p>(1) 幼児給食は1日の栄養バランス向上に役立つのか 田中琴音（神奈川県立保健福祉大学）、吉中季子（神奈川県立保健福祉大学）</p> <p>(2) マルトリートメントとジェンダー—子どもと保護者の性別の組み合わせに注目して— 川口遼（内閣府）、安藤藍（千葉大学）</p> <p>(3) 母子世帯の生活と社会的ネットワーク 江楠（北海道大学大学院生）</p> <p>(4) 女性の一時生活支援事業利用後の現状と課題—退所後調査から— 吉中季子（神奈川県立保健福祉大学）、山内太郎（札幌国際大学短期大学部）、波田地利子（NPO 法人女性サポート Asy1）</p> <p>(5) 最低生計費に関する研究—生計費調査と全消データとの比較から— 村上英吾（日本大学）、中澤秀一（静岡県立大学短期大学部）</p>
-------------------------------	---

■参加申込・問合せ先

- ・参加費は無料で、非会員も参加できます。会員・非会員とも、参加には事前の申込みが必要です。
- 下記の Google フォームより参加申込みを行ってください。【申込締切：2023 年 10 月 10 日】

<https://forms.gle/PM9tJPhCqIyVaBWNA>

- 11月5日 大学近くにコンビニ等がありますが、大学内の売店等は開いていません。
- 大会は、対面での開催です。共通論題・特別講演のみ、大会参加申込の際の希望者にオンデマンド(期間限定)で後日、視聴できるようにする予定です。
- 最新情報は貧困研究会 HP(URL <http://www.hinkonken.org>)をご覧ください。
- 大会時期はちょうど紅葉狩りの観光シーズンで、会場近辺の宿泊先等の予約が難しくなるかもしれません、早めの宿泊先の確保をお願いします。

▶▶お問い合わせ先：貧困研究会事務局（第16回大会関係）

電子メール: [taikai-entry\[at\]hinkonken.org](mailto:taikai-entry@hinkonken.org) (送信時に[at]を半角の@に置き換えて下さい)

■会場：札幌学院大学・新札幌キャンパス

住所) 〒004-8666 北海道札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1

アクセス) JR および 地下鉄 新札幌駅 徒歩5分

JR 新札幌駅改札より商業施設の案内に沿ってサンピアザ水族館、札幌市青少年科学館方面出口より徒歩1分
地下鉄東西線1番出口より札幌市青少年科学館裏へ徒歩1分。

*大学 HP アクセス案内はこちら(グーグルマップあります。)

<https://www.sgu.ac.jp/information/access.html>

*無料の駐車場はございません。公共交通機関等でお越しください。



図1 札幌学院大学新札幌キャンパスのマップ

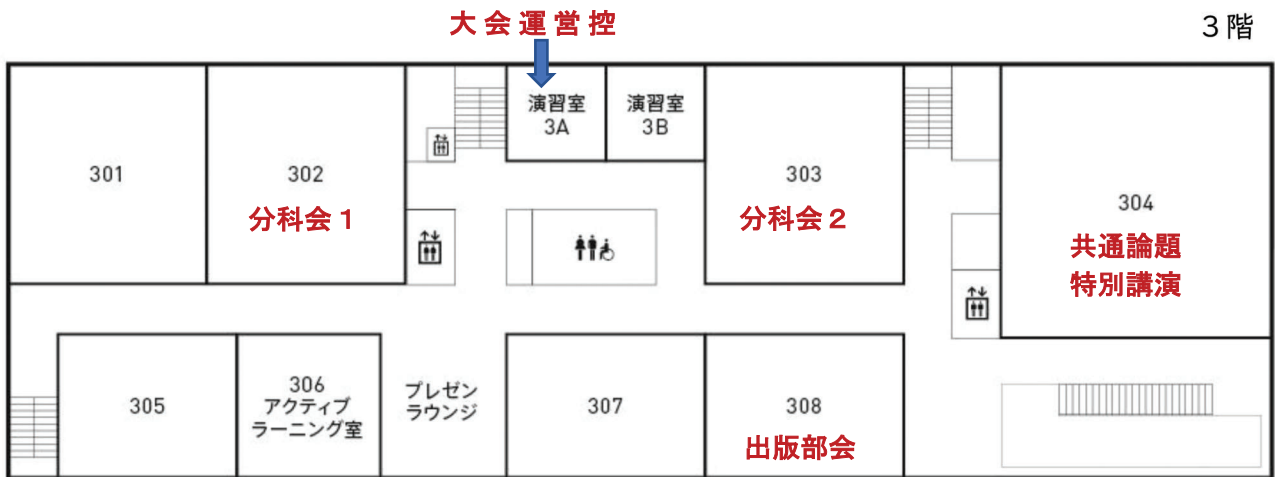


図2 新札幌キャンパス3階

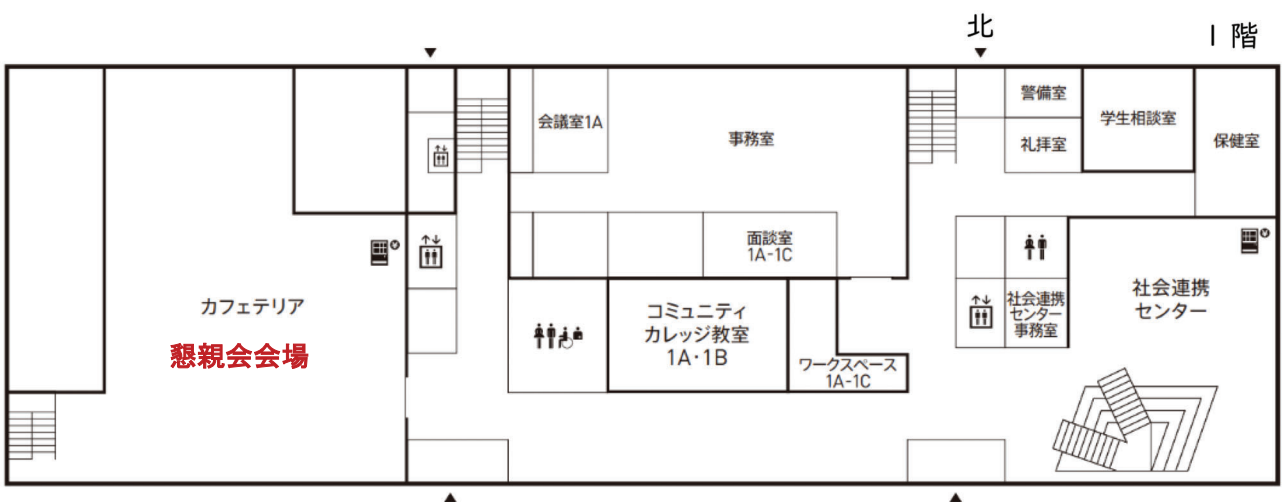


図3 新札幌キャンパス1階